

『「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」と『綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ(第6版)』の発行に向けて』

於保 紗由里 ・ 原田 淳史 ・ 藤井 健太郎

「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」 「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ(第6版)」の編纂及び全面改訂作業し、発行する。

はじめに

本研究会は、市内の自然や環境に親しむための資料を作成し、効果的な活用方法を探ることを目的に研究を進めている。

3年研究の3年目として、今年度は、「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」及び「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ(第6版)」について、平成31年3月31日の発行を目標とし、最終的な編纂と全面改訂作業を行った。

研究の推進にあたっては、元綾瀬市立小学校教諭 諏訪部 晶氏にご指導いただいた。

研究の内容

1 研究の基本方針

(1) 「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」について

前回までの「綾瀬の野草」の趣旨を継承しつつ、生物等を新たに加え、小学校低学年の生活科から対応できるものを目指し、編纂した。最終年度の今年度は、花壇の花や樹木、昆虫など、項目ごとの資料収集と説明文章の内容を推敲し、「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」を完成させた。

(2) 「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ(第6版)」について

環境学習が多くで学校で総合的な学習の時間に取り扱われていることから、総

合的な学習の時間を中心に対応するものを目指し、全面改訂作業を行った。これまでの内容の精選を行うとともに、総合的な学習の時間で必要となる項目を取り上げるなどして、「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ(第6版)」を完成させた。

2 研究経過

(1) 「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」について

「あやぴいとさがそう あやせのしぜん(初版)」の作成の過程は以下のとおりである。

①各ページのレイアウト

小学校低学年の生活科や中学年の理科などの副教材として活用できるように、内容に合わせて写真などの資料を選定するとともに、選定した資料の説明文章を推敲した。小学1年生から使用することを考え、見つけたいものをすぐに探せるようにカテゴリー毎に色をつけ、小見出しを付けた。野草のページの最後には、野草を使った遊びをいくつか載せ、野草に親しみをもてるようにした。また、授業で育てる機会のある花や野菜などについては、種のことや育てる時のポイントを説明文章に加えるなど、授業で活用できるようにした。さらに、巻末の索引ページには、見つけた生物などをチェックする欄を設け、自然探しを楽しむきっかけとなるようにした。

②説明文章の工夫

小学1年生から使用することを考え、文章中にイラストやマークを多く取り入れた。また、各ページには、説明文章の他に、あやびいが解説者となって、植物の名前の由来や生き物の特徴、注意喚起などを吹き出して説明している。市のキャラクターであるあやびいを登場させることで、本のタイトルにもあるように、あやびいと一緒に自然探しをしているような感覚になり、この教材に親しみをもって活用してくれると考えた。

（２）「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ（第6版）」について

多くの小・中学校で、環境学習が主に総合的な学習の時間で取り扱われていることから、総合的な学習の時間での活用を中心に考え改訂した。その過程は以下の通りである。

①学習の進め方の紹介

総合的な学習の時間は、具体的にどんなことを、どのように行くとよいのかを紹介するため、「どうやって学ぶの？」のページの設定をした。

②説明文章・データ・写真などの追加修正

冊子冒頭の漫画のページなど、約20の項目について新規で追加した。また、第5版の説明文章やデータ、写真などをすべて見直し、情報の更新、写真の入れ替えなどを行った。また、データ等の引用元を近くに明記し、最新の情報が確認しやすいようにした。

③環境に関わる現代的な課題の紹介

今回の改定では、マイクロプラスチックや食品ロス等の現代的な課題について、新たに追加した。持続可能社会を念頭に、起こりうる様々な環境に関する課題について、目を向けるきっかけとしてもらいたいと考えた。

成果と課題

1 成果

「あやびいとさがそう あやせのしぜん（初版）」については、小学1年生の生活科から活用できるものを、「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ（第6版）」については、総合的な学習の時間を中心に活用できるものをコンセプトに当初の計画通り作成することができた。

「あやびいとさがそう あやせのしぜん（初版）」については、小学校低学年で取り扱う植物（野草、花壇の花、野菜、樹木など）や生物（綾瀬で実際に観察できる昆虫や水辺の生き物、野鳥など）を中心に構成し、掲載することができた。

「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ（第6版）」については、総合的な学習の時間の副教材の一つとなるように内容を検討し、学習方法や発表の仕方、環境に関する現代的課題等を新たに掲載した。また、小学生を対象とした副教材であるが、その後も幅広く使える内容にし、綾瀬の環境教育を推進できる資料にすることができた。

2 課題

「あやびいとさがそう あやせのしぜん（初版）」については、低学年から使用することを考えレイアウトを施行錯誤してきたが、説明の内容を大幅に減らしたため読みやすくなったが、資料としての情報量は今後も検討する必要がある。

「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ（第6版）」については、3年に1度の改訂の中で、環境に関する最新の情報や課題に対して、どのように対応していくか今後の課題といえる。また、環境教育を広めるために、綾瀬市で実践している環境への取り組みを今後さらに啓発していけるよう、今後の研究に期待したい。